

# 苗場山麓 ジオパーク

Vol.  
60

振興協議会だより

〔発行日〕 令和5年4月26日  
〔発行〕 苗場山麓ジオパーク推進室  
〔お問い合わせ〕 025-765-1600



## 第8回苗場山麓ジオパークフォトコンテスト各賞が決定しました

2月7日(火)、8回目となる苗場山麓ジオパークフォトコンテストの審査会をなじょもんにて行いました。写真家の方を含め審査員8名により魅力的な全作品の中から最優秀賞、各部門賞、各スポンサー賞が選出されました。入賞作品の結果は苗場山麓ジオパークのホームページ(<https://naeba-geo.org>)でご覧いただけます。

次回もたくさんのご応募を心からお待ちしております。



フォトコンテスト  
結果発表ページ



最優秀賞「秋の日」 中澤 泰彦



春部門「残雪に映えて」  
斎木 文雄



夏部門「prologue」  
若原 まり子



冬部門「雪明かり」  
茂野 孝志



動・植物部門「一瞬の出会い」  
広瀬 明彦



秋部門「錦繡の蛇淵の滝」  
堺澤 健一



暮らし・生活部門「伝統の継承」  
久保田 真一



学生部門「進んだ先には」  
石澤 槇花





## 防災教育の研究に取り組まれた生徒の皆さんからお話を聞きました

新潟県立津南中等教育学校から出場した防災研究をテーマにした1個人、1チームが「第8回高校生国際シンポジウム」で最優秀賞を獲得しました。

このことを受けて、入賞した6年生（高校3年生）の富井優花さんと5年生（高校2年生）のチーム・ネクサス（上村藍夏さん、坂口成実さん、樋口実夏さん、村山未来さん）から、きっかけやその取り組み、そしてこれからについて取材させていただきました。

富井さんは、中越地震の発生した8日後に生まれ、ご家族から震災について話を聞いていたそうです。中等教育学校では、5年生へ進級すると校外研修として東北研修（仙台・石巻）があり、実際に東日本大震災の被災地を見て、当時の様子を語り継ぐ方からも個別にお話を聞いたそうです。この経験を通して5年生の時には、津南町の小学校への出前授業や、学内での訓練を行い、それらの活動をまとめたそうです。6年生では、個人研究として防災教育に関するアンケートを全校内の生徒に向けて2回行いました。アンケート調査から、「月日が経過するとその意識が下がる。けれども、防災教育を受けた学年は下がる比率が低い」という傾向を掴みました。課題として、防災教育が未だ学校教育において「教科」となっていないことが挙げられました。大学では、総合政策学科に進学することから、防災をテーマに研究を続けていき、防災教育のあり方に差がある現状から、文部科学省へ防災教育の「教科」化を訴えていきたいと考えているそうです。

チーム・ネクサスは、先輩たちの活動を引き継ぎ、「備える」をテーマに取り組んだそうです。課題であった冬の防災訓練や、教室以外で地震が発生した際に、どのように対応すれば良いか誰も認識しておらず、その対応方法も不明瞭でした。そのため、「防災小説」という災害を想定して、どのように動くかを小説にすることで、日々の防災意識を高める取り組みを実施しました。チーム・ネクサスの取り組みは、今年度、新5年生に引き継がれ、防災をテーマとした取り組みを継続するそうです。栄村では、3月12日を「震災を忘れない栄村防災の日」と定めており、津南町でも3月12日を「防災の日」と制定して防災教育を継続し、「備える」意識を持ち続けて欲しいと語っていただきました。

今回、取材で会った津南中等教育学校の生徒さんたちは、入学して1年生の時にジオパーク学習とバス巡



富井 優花さん（6年生・取材時）



チーム・ネクサスの皆さん（5年生・取材時）

検を経験しています。そして、東北研修において東日本大震災の被災地を視察した経験から、5年生、6年生は後輩たちに自分の経験や取り組みを発表する機会もあるそうです。

2011年の震災から12年、ジオパーク学習の展開が始まって9年、小中学生であった子どもたちが高校生、大学生となり成人を迎えていく中、はじめのジオパーク学習から防災教育の研究に至るまで繋がっていることを改めて感じました。今後も、事務局として、ジオパーク学習に対する支援、協力を継続していきたいと考えています。

【苗場山麓ジオパーク推進室・佐藤 信之】



## つなん雪まつり2023～ガイド会の活動～

3月11日(土)、第47回つなん雪まつりの開催にあたり苗場山麓ジオパークガイドの会は、観光客に苗場山麓の魅力を情報発信したいと考え、無料提供食品・販売商品・写真パネル・火焰型土器等を早朝から準備し、まちなかオープンスペース「だんだん」にてお客様を待ちました。事前情報によると観光客総勢1,000人、午後2時半から4時頃に大勢の方が商店街を散策する予定との事で、当日、我々のブースにも大勢のお客様が訪れ、温かいなめこ汁・甘酒・お酒等を振る舞い、たいへん喜ばれました。

情報発信コーナーでは、苗場山麓に生息する希少動植物の紹介を行い、火焰型土器・王冠型土器（沖ノ原出土品）の紹介では、実際に土器を手で触れてみて写真を撮影したり、皆さん興味津々のご様子でした。火焰型土器からジオサイトの写真・パネルへと説明を進め、この地域一帯が大地のロマンを秘めた魅力いっぱいの地域であることを、ガイドたちは熱く語りました。説明を聞いた皆さんは、ひっそりとした山間地の小さな町村に、ロマンに満ちた素晴らしい物語や大切な物があるという事にとても驚かれています。

県外から「スカイランタン」を見にお越しいただいたある二人組の女性のお客様は、「スカイランタンだけでなくジオパークの話も聞けて良かった」と仰ってください、また、「ゆっくり訪れてみたい」と話してくださった方もいらっしゃいました。大勢のお客様に楽しんでいただき、ジオパークガイドとして苗場山麓をPRできた一日でした。

【ガイドの会代表・小島 隆夫】





# ここが好きだよジオパーク

認定ジオガイドがおすすめの場所、もの、ことなどを紹介していきます。

認定ジオガイド  
が伝える

大熊 一郎さん



## 苗場山と苗場登山を楽しむ（ガイド No.49 大熊 一郎さん）

私はかなり太めですが、苗場登山は心地良い楽しみです。楽しみは大きく三つあります。①遠くから山の姿や形を想像する、②登山しながら眺めを楽しむ、③山頂でも楽しむ、です。苗場山に関わることからオリジナルな楽しみ方を引き寄せ、味わっていただけると嬉しいです。

### 1 遠くからから苗場山の姿や形（つくり・重なり方）を想像する

十日町市で「苗場山はどこ？頂上はどこ？」という質問を時々受けます。ガイドでありながら質問した人に明快に答えることは今もできませんが、「あの辺りかな」と指差します。そして、「実はてっぺん付近はゴルフ場のように広く、周りの山も山頂と同じ位の高さなので、ここからだ山頂は隠れていて見えないようです」とも付け加えます。下の図のようになじもんの模型との睨めっこも面白いです。見る位置を変えながらなじもんの模型を眺めるのは楽しく、苗場山の山のつくりや山の重なり方を考えるきっかけになりました。

このコラム「ここが好きだよジオパーク」のタイトルの背景写真は、苗場山頂部の溶岩台地の断面図ともいえます。この向こう側に壮大な高層湿原が広がっています。深田久弥は著書「日本百名山」で苗場山の山体を「鯨」と表現しています。そう思ってよ〜く見ると、たしかに「鯨」です。

### 2 登山しながら眺めを楽しむ

タイトルの背景写真中央に小高い所があり、その左側はへこんでいます。このへこんだ辺りは「坪場」と呼ばれ、登山ではポイントになる場所です。ここまではかなりきつい登りですので、ほとんどの登山者がここで休憩するでしょう。坪場からは、背景写真を左側に進み、主に木道を歩きます。そして、背景写真の一番高い所の山頂を目指します。6合目から坪場にかけて後ろを振り返るとダケカンバの間から「鳥甲牧場」が見えます。私が苗場登山で一番爽やかに感じる眺めです。坪場からは、鳥甲山が間近に見え、「お〜い」と声をかけたくくなります。また、北アルプス、佐渡も天候がよいと見えます。

### 3 山頂でも楽しむ……日の出・夜空も！

山頂近くのお花畑の端で日の出を待ったり、山頂ヒュッテ前で星空を見上げたりする一時は最高。街明かりで見付けにくい小さな星座「かんむり座」を確認できた時は「ホントにかんむりだ！」と声を出してしまいました。

苗場山からは毎日楽しみをもらっています。体力維持に努め、もう少し山と付き合っていきたいと思います。



山頂付近  
柏崎市中鯖石から眺めた苗場山のシルエット



どの方向から眺めると上の写真のように見えるかについて  
なじもんの模型で調べ、山のつくりや重なり方を考える



ここを登りきると「坪場」  
向こうには湿原と木道が待っています



真ん中辺りの平らなところは鳥甲牧場  
(その右奥は高倉山)



## 突撃しよう!となりのジオ便り～隠岐ジオパークからこんにちは～(キリンジャー・カトリーナ 長田 樹)

隠岐ジオパークは特異な大地の成り立ちに由来する、壮大な景観から地質、生物、文化、歴史の繋がりを語るジオストーリーを楽しむジオパークです。

4つの主島からなる人口約2万人の離島を範囲としており、海というはっきりとした地理境界を持っているため、隠岐の地理的な特徴が島内各所に反映されています。また隠岐地域内の奥津戸海岸（島後）では、アーティスティックな模様の赤、オレンジ、白などの色になっている流紋岩が見られます。その模様を見ながら、当時の溶岩の流れを想像して、遠い時代を覗くことができます。国賀海岸（西ノ島）の摩天崖では、色が層ごとで変わり、その層の数で昔の噴火の回数がわかります。赤壁（知夫里島）も印象的な赤い崖壁だけでなく、かつての火山の断面にもなっています。これらの景色のように、隠岐には、大地の成り立ちを語る岩石が沢山あります。

その他、隠岐地域には100以上の神社があります。その中には、地形や方位などと密接につながった神社も多くあります。そのうちには春分の日と秋分の日朝日がちょうど鳥居の真ん中を通る春日神社（島後）、大量のイカが寄って来る「イカ寄せ浜」とイカの伝説がある由良比女神社（西ノ島）、隠岐の生態系を代表する巨大杉の一つであり形も不思議でそれ自体がご神体である岩倉の乳房杉（島後）など、隠岐ジオパークでは、地形、生態系、人の営みのジオパークの3つのテーマが全て関係して、その繋がりのわかりやすい地域です。

隠岐ジオパークでは岩石や周りの生態系をより詳しく、そしてより楽しむには、アドベンチャーに出かけないと味わえない魅力もあります。シーカヤックに乗って海から見られる景色。川沿いを歩いて見られる生き物。山に登って見られる奇岩。トカゲ岩という奇岩は島後の見どころとしてよく知られていますが、展望台から見るトカゲ岩と近くで見るトカゲ岩は全然違います。そして電動アシストのe-bikeに乗ると自然に触れながら走り、観光スポットやジオパークサイトへの道も充実できます。

小さな島で地球を体感できる隠岐へ、ぜひお越しください！



国賀海岸の通天橋



岩倉の乳房杉



## 令和5年度 苗場山麓ジオパーク学術研究奨励事業 採択者決定

| 氏 名   | 所 属                 | 研究の名称                                                   |
|-------|---------------------|---------------------------------------------------------|
| 植木 岳雪 | 帝京科学大学教育人間科学部       | 関田山地、貝立山の安山岩のK-Ar年代測定                                   |
| 本田 秀生 | 小松市埋蔵文化財センター        | 苗場山麓における自然と人間のかかわり<br>-編組品、特にかご類にみる植物の利用とその技術3-         |
| 涌井 泰二 | 苗場山麓の自然を考える会        | 栄村・津南町に残る通船遺構の現状を探る                                     |
| 中島 展之 | 茨城大学大学院理工学研究科       | 津南町における地震被害と地形や地質及び地盤特性の関係の解明                           |
| 有馬絵美子 | 神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科 | 雪国・秋山郷における生活暦の解明                                        |
| 河野 摩耶 | 京都芸術大学通信教育部         | 苗場山麓の縄文時代における赤色顔料原材料の獲得と交易に関する基礎的研究-自然科学的分析法による産地推定の試み- |



## 大地のたからもの～苗場山麓ジオパーク特産商品ご紹介⑬～



### 【豪雪物語どぶろく】 四季の杜（道の駅 信越さかえ内）

〒389-2702 長野県栄村北信 ☎0269-87-3116

営業時間 9:00～17:00 定休日:冬のみ不定休

### ジオストーリー

苗場山麓の大地と雪を源とする豊富で清らかな水、四季のはっきりとした気候が美味しいコシヒカリを育てます。これら自然の贈りものを原料に作っているのが、雪のように白く芳醇な「豪雪物語どぶろく」です。

お問い合わせ：津南町役場観光地域づくり課 電話025-765-5454 新たに認定された商品（10品）についても、今後掲載する予定です。